

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

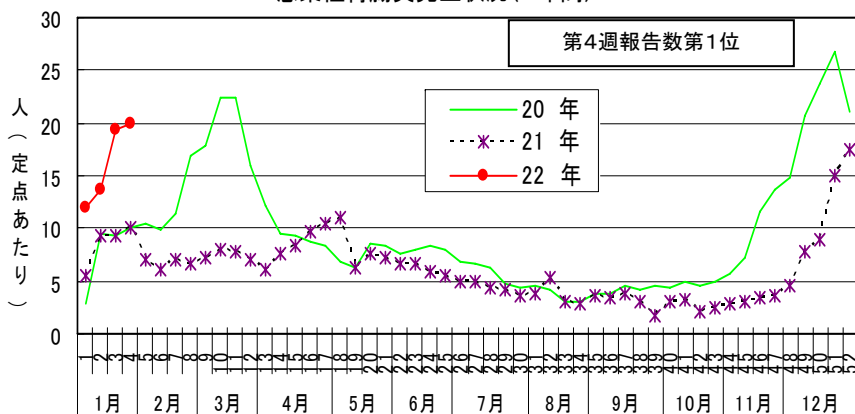


KAWASAKI CITY

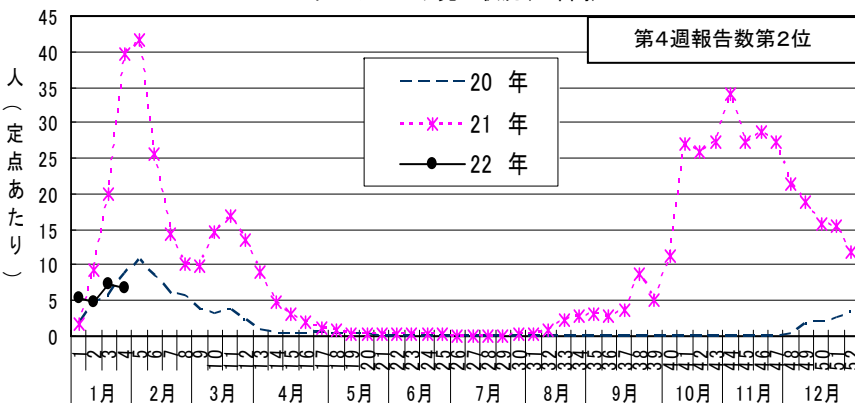
平成22年1月25日（月）～1月31日（日）【平成22年第4週】の感染症発生状況

第4週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎となっています。
 感染性胃腸炎が定点あたり19.84人と患者報告数が増加しており、前週と同様に警報基準値である定点あたり20に近いレベルとなっております。また区別では、川崎区・中原区・多摩区の3区で警報基準値を超えていますので今後の動向に注意が必要です。
 インフルエンザは、定点あたり6.81人で前週と比較して減少しました。年齢別では、小中学生の占める割合が増加しており、市内で学級閉鎖等が報告されておりますので、今後動向に注目する必要があります。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



知っておきたい～ノロウイルスのこと～

冬の時期に、「朝起きたら、おう吐と下痢がひどくて横になるのも大変・・・でも2日後くらいにはだいぶ良くなった。」こんな経験はありませんか。それはノロウイルスによる感染性胃腸炎がかもしれません。今から、感染性胃腸炎にかからないように、かかっても適切な対応がとれるようにしましょう。

どんなウイルス!?

感染力が非常に強いのがノロウイルスの厄介なところ。少ないウイルスで多くの人に感染します。便やおう吐物として体の外に排出された後も感染力はなかなか衰えず、何日も前にノロウイルスに汚染されたカーペットから感染した例があるほど。便やおう吐物だけでなく、これらによって汚れたもの全てを確実に処理しなければなりません。

症状は!?

主な症状は吐き気、おう吐、下痢、腹痛で、熱はそれほど出ません。通常1～2日で症状はおさまり、後遺症もなく治ります。感染しても発症しない人や、軽いかぜのような症状で済む人もいます。ただし、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などの場合、重症化したり、おう吐物をのどに詰まらせたり、下痢によって脱水症状がひどくなるほどの危険があり、油断は禁物です。

ワクチンは、治療法は!?

今のところノロウイルスに効果のあるワクチンはありません。脱水症状を防ぐため、水分をしっかりと取りましょう。特に高齢者や乳幼児では重要です。脱水症状がひどい場合には病院で輸液などの治療も行われます。

どうやって感染するの!?

- ①食品から人へ
ノロウイルスに汚染された二枚貝を生、あるいは十分加熱せずに食べた。
- ②人から食品を介して
ノロウイルスが付いた手や器具で調理したために食品が汚染され、それを食べた。
- ③人から人へ
ノロウイルスが含まれた感染者の便やおう吐物が手に付き、口に入った。乾燥して空中に舞上がったウイルスがほこりなどと一緒に入った。

コップパンにノロウイルス!?

平成18年に、ノロウイルスに感染した従事者が手袋等を着用せずに、素手で加熱調理後のコップパンの詰め替えを行っていました。それにより、そのコップパンを使用していた複数の小中学校の教職員と生徒を合わせて1,440人中366人が発症しました。

ノロウイルスの食中毒防止には85℃1分以上の加熱調理が推奨されていますが、加熱した後の衛生管理もまた重要です。ノロウイルス対策には加熱することも大切ですが、まず食品に「付けない」ことが最善策です。今から、家庭内でノロウイルス対策を実践しましょう。

